

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-12-01
事務事業名	JRへの要望事務		
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 企画課 職・氏名 企画政策係長・田原義大 電話 0869-64-1871
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	
	小項目 施策	公共交通	
	根拠法令・要綱等		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	JR
目的(何のために)	在来線の増便等の要望を行うことにより、通勤・通学・通院・買物等市民の主要移動手段であり地域交通の基幹となっているJR線の利便性の維持・向上、及び利用促進を図る。
行政活動(どのような方法で)	JR在来線(赤穂線、山陽本線)の市内運行について、増便(反減便)、延長運行、時刻設定、改札の利便性向上等に関し利用者及び地域住民の要望をまとめ、JRに対し直接あるいは関係機関を通じて要望する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	JR在来線の増便(反減便)、延長運行、時刻設定、改札の利便性向上につなげる。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	要望件数	件	1	1	2
	直接事業費		-	-	0
	人件費	千円	-	108	1,208
	事業費計		0	108	1,208
	国県支出金				
	受益者負担				
	市一般財源	千円	0	108	1,208
	必要人員	人			0.12
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
要望回数	説明				
結果指標	結果指標量	件	1	1	2
	対前年比	%	-	100.0%	200.0%
	活動コスト	円	-	108	1,208
	単位当たりコスト	円	-	108	604
結果指標	結果指標量	人			
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	要望実現数	式又は説明	要望に応え実現されたもの
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	0.00	0.00	0.00
対前年比			
到達目標値	1以上	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)		
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	C	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている			
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している			
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある			
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない			
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	JR線は、通勤・通学・通院・買物等市民の主要移動手段であり地域交通の基幹となっている。JR線の利便性の維持・向上、及び利用促進を図ることは地域にとって不可欠であり目的は妥当である。	
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である			
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい			
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である			
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A~E>	C
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識		
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難			
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある			
	手続	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		各関係者の意見を事前にまとめ要望しており、事業費としては事務人件費以外の特定の経費はなく妥当である。
職場	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている			
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
	職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている			
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい			
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識		
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある			
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している			
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		要望事項の実現に結びつかないものが多いが、JRに対し確実に声を届けることはできている。	

平成20年度の状況		説明	要望内容をより具現化し、実現に近づこう改善する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	1以上	結果指標量
	成果指標量		1以上

総合評価		評価区分<A~E>	C	
JRに対する要望は、利用者、地域住民の声を届け、要望の実現に向け働きかけることが重要である。利潤を求める民間事業者への要望はすぐに実現に結びつくとは限らないが、要望に反する改正を阻止する効果もあると思われる。公共交通の利用促進施策や、他市町との連携などとあわせ粘り強く働きかけを継続していく必要がある。				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	より具体的な要望内容とする	平成21年度	要望の実現性を高める